

公表	児童発達支援事業所における自己評価総括表
----	----------------------

○事業所名	キッズワールドサポート OceanⅡ			
○保護者評価実施期間	令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○従業者評価実施期間	令和6年4月1日 ～ 令和7年3月31日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年5月21日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的にやっている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童に寄り添った支援を行っている。	一人一人の意思を尊重し、個別や集団での活動の中で「出来た喜び」や「頑張った達成感」などを感じてもらえるよう支援を行っています。 また、活動時間と自由時間でのメリハリを持たせ、学びの場と遊びの場の切り替えなどもスムーズに行っていけるようサポートしています。	個々の特性に合った支援を行う為、職員間での話し合いを継続しそれぞれに合った支援方法を見出していきたいです。
2	指導員自身も家族に障害を持ってる人がおり、親としての気持ちにも共感や寄り添う事が出来る。	児童の自宅での様子や学校での様子など伺い、事業所での様子などもお伝えし情報共有を心がけてます。 ご家族の近況などにも意識を向けて、協力して児童支援が行えるような環境作りに努めています。	ご家族が事業所での様子を見る機会がない為、見学できる機会を設け、日々の支援の様子を見てもらい児童支援の統一化を図っていきたいです。
3	様々な学校(年齢)の児童がいる為、異年齢の他者との関わり方を学ぶ事が出来る。	同年代だけでなく異年齢を組み合わせる事で、頼られてリードしていく意識や頼れることで1人で頑張らなくて良いという安心感を持ってもらい、互いに向上心を育み自己成長に繋がる支援を行っています。	得意不得意はある為、個々の特性に合った形で緊張や不安にならない自信に繋がる支援を行っていきたいです。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	地域(近隣住民や学童・放デイ等)との関わりが少ない。	地域のイベントなどに積極的に参加出来なかった。 事業所で地域との関わりが持てる機会を計画する事が出来なかった。	近隣イベントへの参加。 まずは知ってる学童や放デイへ交流機会を設けてもらえるよう自ら計画・声かけを行っていく。 (現在、夏頃の交流会を計画予定)
2	各マニュアルの策定と保護者への周知・説明が出来ていない。	事業所内でのマニュアル作成は行っているが、保護者への説明や周知までは行えていなかった。	毎月発行のお便りに子ども達の日常の様子を掲載し、保護者へお配りしてるので、そこへ職員の事業所での取り組みや報告なども載せていきたい。 また、保護者会や会議など保護者の方とお話し出来る場で説明に努めていく。
3	事業所内の活動スペースに限りがある為、運動活動で制限が出る事がある。	事業所前が道路である事、園庭などの広い場がない。 子ども達も進級し活発に動き、身体も成長したことで室内での活動で安全を優先し活動内容への制限をかけてしまっていた。	定期的に事業所外での運動活動の時間を設けていく。 活動内容に応じて、家具の配置を変えスペースを広く作れるよう考えていく。